

住団連

Vol. 323

令和2年12月号

ホームページに全文掲載しています
<https://www.judanren.or.jp/>

豊かな住生活を
めざして

Contents

景気回復に向けた経済対策並びに
令和3年度 住宅土地関連予算・
税制改正要望活動

「みんなでおうち快適化チャレンジ」
キャンペーンについて

委員会活動 (11/1~11/30)



◇景気回復に向けた経済対策並びに令和3年度 住宅土地関連予算・税制改正要望活動

住団連は、新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ景気を回復させるため、内需の柱である住宅投資を喚起する予算・税制による対策を取りまとめ、その実現を強く求めるべく、政府・関係省庁に対して精力的に要望活動を展開して参りました。重点要望事項は以下の通りです。

要望1 (仮称)新しい生活様式ポイント制度の創設

要望2 税制特例措置の拡充(消費増税対策と同等以上)

- (1) 住宅ローン減税の拡充
- (2) 住宅取得等資金に係る贈与税非課税枠の拡大
- (3) 分譲共同住宅の取得に係る税制特例措置の面積要件の緩和

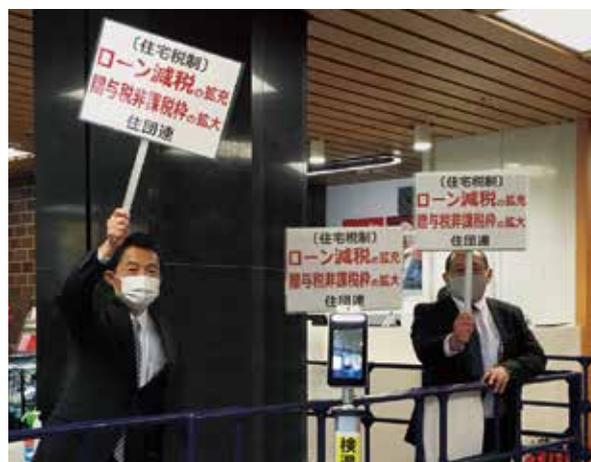
要望3 ZEH補助予算の確保と実情に即した制度運用

主な活動実績

- ・ 5月28日～6月10日：国会議員への個別訪問
- ・ 6月15日：国交省住宅局幹部との住宅懇談会、住宅対策促進議員連盟(自由民主党)
- ・ 6月25日：住宅土地・都市政策調査会(自由民主党)
- ・ 7月20日：公明党幹部との住宅政策懇談会
- ・ 7月21日～9月3日：国会議員への個別訪問
- ・ 9月1日：国土交通大臣へ要望書提出
- ・ 9月3日：経済産業大臣へ要望書提出
- ・ 9月4日：環境大臣へ要望書提出
- ・ 10月15日：住宅土地・都市政策調査会(自由民主党)
- ・ 10月16日：国交省住宅局幹部との住宅懇談会、自由民主党議員との住宅懇談会
- ・ 10月20日～11月27日：国会議員への個別訪問
- ・ 11月13日：住宅対策促進議員連盟(自由民主党)
- ・ 11月25日：住宅振興議員懇話会(公明党)



二階俊博自由民主党幹事長を阿部会長、市川副会長、池田副会長、小田副会長がご訪問



自由民主党税制調査会委員会に出席される議員を住団連にて応援

◇「みんなでうち快適化チャレンジ」キャンペーンについて

上記キャンペーンを下記内容にて実施しています。住宅生産団体連合会は「ZEH」で本キャンペーンを推進いたします。関係各位におかれては展示場、ショールームでのPOP・ポスター等の活用、WEBサイトにおけるキャンペーンロゴ等の活用など協力お願いいたします。

○概要

菅総理大臣は所信表明演説で、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しました。その実現には脱炭素型のライフスタイルへの転換が必要です。また、コロナ禍において、家庭で過ごす時間が増え、世帯当たりエネルギー消費量の増加傾向が見られます。これらを踏まえると、「在宅生活」に焦点を当てて、新たな日常の脱炭素化を進める必要があります。

そこで、環境省は経済産業省、国土交通省及び関係業界（一般社団法人住宅生産団体連合会、一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会、大手家電流通協会、全国電機商業組合連会）等と連携して令和2年11月26日（木）から「みんなでうち快適化チャレンジ」キャンペーンを開始いたしました。

本キャンペーンでは、これから冬を迎え寒くなり、暖房使用等による家庭でのエネルギー消費の大きくなるタイミングを捉え、家庭の省エネ対策としてインパクトの大きい、断熱リフォーム・ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）化と省エネ家電への買換えを呼びかけ、国民一人ひとりの行動変容を促していくことにより、脱炭素で快適、健康、お得な新しいライフスタイルを提案します。

○キャンペーンのポイント

- ・快適・健康という生活の質の向上、新しいライフスタイルを提案。
- ・うちの快適化が、家族の健康のみならず、地球の健康にもつながっている。
- ・コロナ禍で迎える初めての冬。今こそみんなで、うちを快適に。

○キャンペーンの対象

- ・住宅の断熱リフォーム（高断熱窓への交換、外壁や天井の断熱改修等）、ZEH化
- ・省エネ家電（エアコン、テレビ、冷蔵庫、LED照明、温水洗浄便座）への買換え

○実施期間

令和2年11月26日（木）～令和3年3月31日（水）

○主な実施内容

キャンペーン全体の認知度を高めるための広報やツール（冊子、ポスター、POP等）制作をするとともに、関係業界等と連携し、デジタル・実店舗を含め、各現場でロゴマークの掲示やツールの活用をいただく。これらを通じて、多様なチャンネルから、消費者へのアプローチを実施する。

○キャンペーンロゴ ○キャンペーン公式サイト <https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/kaiteki/>



*2020年11月26日、「みんなでうち快適化チャレンジ」キャンペーンのスタートに当たり、小泉進次郎環境大臣、（一社）住宅生産団体連合会の阿部会長をはじめとする関係業界団体の代表者の出席のもとキックオフイベントを開催しました。



小泉環境大臣から「11月26日（いいふろの日）から、『みんなでうち快適化チャレンジ』を始めます。コロナ禍で家にいる時間が増え、家庭での電力消費量が増えていると言われます。家にいる時間をより快適にするとともに、菅総理が宣言した『カーボンニュートラル』の実現に向けて家庭のCO2排出量削減、住宅分野の脱炭素化が重要となる中、今回のキャンペーンはまさに脱炭素化と快適化を両立できるものだと捉えています。日本ではいま、家の断熱性能の低さが引き起こすヒートショックなどで、年間約2万人が入浴中に亡くなっているそうです。今後は段差だけでなく、温度差・寒暖差をなくして命を救っていく「バリアフリー」もニューノーマルになると思います。光熱費の面でも初期投資がかかっても元が取れるという具体的な数値を共有して、消費者の前向きな選択を後押ししていきたいです。今日から『みんなでうち快適化チャレンジ』で、脱炭素化とともに快適化、そして健康を守る取組みを協力団体と一緒に進め、多くの人に知ってもらい世の中に広めていきたいと思っています。」と挨拶されました。

（一社）住宅生産団体連合会の阿部会長からは「住宅、家庭から出るCO2排出量はここ数年、日本全体の約15%を占めています。住宅から出るエネルギー収支をゼロにする、ゼロエネルギーハウス（ZEH）の取組みが住宅業界にとっては不可欠であり、連合会としては『ZEH』でこのチャレンジを推進したいと思います。」とメッセージされました。

<委員会活動（11/1～11/30）>

【運営委員会】

◎第294回運営委員会 11月10日
（審議事項）

1. 専門委員会委員の推薦に関する件。
2. 令和2年度臨時総会（みなし総会）付議案件に関する件。

（報告事項）

1. 「住宅工事現場における技能者の働き方改革ガイドライン」2020（案）について。
2. 各専門委員会活動状況報告（令和2年4月～9月）Part2について。
3. 団体会員（（一社）全国中小建築工事業団体連合会）の退会について。
4. その他。

【専門委員会】

◎令和2年度 第4回広報委員会 11月12日

- ・ホームページについて ⇒新着通知を始めてからの9月～10月データは対前年比、訪問数171%、ページビュー数163%と大幅増です。その結果2020年度累計においても訪問数129%、ページビュー数113%と前年比増になっています。PDFダウンロード数値を見ても新着アップした項目が多い。
- ・税制抜本提言の落とし込み ⇒資料パワーポイント「ここが変だよ!! 日本の住宅税制」（仮）を基に討議加筆し金融委員会に渡す予定。

◎住宅性能向上委員会WG

11月16日

- ・住宅政策の動向について / 国土交通省住宅局住宅生産課 ⇒省エネ住宅普及リーフレット発行、既存住宅流通市場活性化のための優良な住宅ストックの形成及び消費者保護の充実に関する小委員会、建築環境企画室・性能班その他連絡事項について報告、意見交換。
- ・経済対策要望（議員陳情）について ⇒資料報告。
- ・長期優良住宅認定制度に対する意見について ⇒11/17自民党調査会提出内容を報告。
- ・経済対策要望（ZEH関連）提出について ⇒11/6対環境省、11/10対経産省提出内容を報告。
- ・「省エネ基準適合に向けたロードマップ」改訂について ⇒10/26委員会承認内容を報告。
- ・SWG1活動報告 ⇒2020年度住宅性能関係制度の整備に関する要望提出について国交省より回答、意見交換。
- ・SWG2活動報告 ⇒中小事業者向け省エネ普及活動状況について報告。
- ・JASS12屋根工事（改定）講習会について ⇒委員より案内。
- ・住宅性能評価・表示協会Web講習会開催案内 ⇒事務局より案内。
- ・ベターリビング サステナブル居住研究センターシンポジウム開催案内 ⇒事務局より案内。
- ・大阪ガスNEXT21オンライン見学会開催案内 ⇒事務局より案内。

- ・暮らし創造研究会 ホームページへの最新の研究成果掲載の案内 ⇒事務局より案内。

◎住宅性能向上委員会SWG1 11月27日

- ・開口部の評価方法について ⇒ALIAより報告、共有。
- ・住宅性能関係制度の整備に関する要望書回答案について ⇒回答案内共有、意見交換。
- ・第2回ZEHRMFU委員会提出議題案について ⇒検討内容共有、意見交換。
- ・11/26基礎断熱TGについて ⇒会議内容共有。
- ・説明義務制度(QA)案への意見について ⇒意見内容共有、意見交換。
- ・建材TR | 需要予測調査 | インタビュー依頼について ⇒意見提出依頼。

◎住宅性能向上委員会SWG2 11月4日

- ・中小事業者向け省エネ普及活動状況について ⇒通信講習会内容検討、共有。
- ・省エネ計算演習事例作成について ⇒作成状況について共有。
- ・住団連HP省エネ特設サイト検討について ⇒進捗報告。

◎IOT等先進技術活用WG 臨時開催 11月24日

- ・太陽光発電システム点検要領について ⇒各委員からの提出意見を整理。
- ・蓄電システムの評価指標について ⇒各委員からの提出意見を整理。
- ・JPEAから依頼の使用済み太陽電池モジュールの撤去・排出に関するアンケート調査について ⇒塩委員から補足説明。

◎住宅ストック研究会 11月11日

- ・「安心R住宅制度」への国交省相談について ⇒安心R住宅制度の改善策について、国交省への相談・打合せ内容(11/4)の報告と意見交換。

◎消費者制度検討委員会 11月26日

- ・匠総合法律事務所 秋野弁護士のご講話 ⇒「コロナ禍で増加する近隣トラブルへの対処法」について解説、意見交換。
- ・伊藤オブザーバーより、取り組み事例の報告 ⇒ミサワホームの「新型コロナに関連する入電状況、CS部門の取り組み」についてのご報告、意見交換。
- ・杉浦委員より、取り組み事例の報告 ⇒セルコホームの「2×4ファストビルドシステム」についてのご報告、意見交換。

◎技能者問題委員会 11月13日

- ・建設キャリアアップシステムに関する住宅業界の要望について(国交省・建設業振興基金参加) ⇒「住宅業界でCCUSを登録・利用する上で改善すべき点」(案)の説明及び意見交換。次回までに修正。
- ・10/26 第3回建築大工技能者等検討会について ⇒住宅現場で働く建築大工以外の技能者の能力評価への取組み方針について状況説明。また住宅現場におけるCCUS運用の具体的課題についての意見紹介。
- ・10/20第11回CCUS運営委員会について ⇒10/1の料金改定を受け、新たな2020年度事業計画及び収支計画について説明があった旨を報告。
- ・働き方改革ガイドライン(案)に関する運営委員会(11/10)における報告について ⇒案に対して11/24までに意見を集約し、修正の上、住団連HPにて公開する。

◎建築規制合理化委員会WG 11月9日

- ・過去の規制合理化要望の見直しについて ⇒委員より意見について集約を行い共有化を実施。
- ・『屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁の構造方法を定める件等の改正について』パブコメについて ⇒住団連の意見提出の報告。
- ・『JASS 5 改訂』JASS 5のパブコメについて ⇒住団連の意見提出の報告。
- ・JIS B 1124改正に伴う調査について ⇒各団体、各社への調査の依頼の実施。

◎輸送制限緩和SWG 11月17日

- ・警察庁、道路局へ提出する要望書について ⇒長さの制限緩和について検討。
- ・内閣府規制改革推進会議について ⇒デジタルガバメントワーキング・グループ当面の審議事項案について紹介。

◎建設業法勉強会 11月10日

- ・建設業法改正施行運用について ⇒質問事項について国土交通省から回答。
- ・監理技術者の兼務可能性について ⇒積水ハウスからヒアリング結果のまとめについて説明。
- ・建設現場のICT技術の導入による効果 ⇒(前回からの続き)各社からの報告の質疑。



発行日：令和2年12月14日

発行人：小田 広昭

発行：(一社)住宅生産団体連合会

所在地：〒102-0085 東京都千代田区六番町3番地 六番町SKビル2階

TEL03-5275-7251 (代)

ホームページ <https://www.judanren.or.jp/>

E-mail sumai@JUDANREN.or.jp

この機関誌に関するお問い合わせ先：広報部 木村